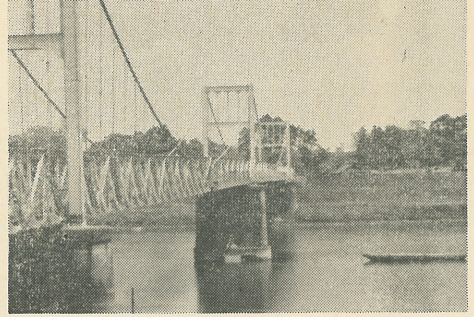




とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和40年11月10日発行 第19号



給食のこと

みんなで作ったさくぶん

さくぶん 一ねんせい

十月十三日から、たのしい

きゅうしょくがはじまりました。

うれしくて、たまりません。

おなが、いっぱい、ある

けません。

【東文間小】



二ねん 藤代 好夫
一、四組は、なかなか きゅうしょくとらばんのばんがまわらないから おもしろくありません。

二、みるくの とうばんがかりの人は、みるくをこぼしたら どうしたらいいのかな。

二ねん 佐藤百合子

きゅうしょくが はじまった日 チョコレートをパンにつけてたべました。きゅうは りんごでしたが、なしが できました。しいたけは わたしが いちばん だいきらいな おかずです。でも 学校では のこして いけないので がまんを して たべました。カレーじるは とても おいしいでした。

二ねん 野口 弘一
ぼくは きゅうしょくしつで たべるのかと おもいました。そしたら きゅうしつで たべました。とても うまかった。けれど、月よう日は ママレードが うまく なかった。火よう日は うれしいです。どうしてかとゆうと、なしが できたからです。ぼくは、なしが、だいこうぶつです。

給食費は

月額六百円

文、文間、東文間小の完全給食は、予定どおり10月13日から開始されましたので、さっそく東文間小を訪問して取材いたしました。その日のこんだては、パン、たまご、コーヒーミルク、わんたんスープ（にぼし・ねぎ・青菜・にんじん・塩・こしょう・しょうゆの味つけ）でみんなとてもたのしそうでした。

【写真は上が給食場面。下はとうばんの生徒がパンやたまごをくばっているところ】

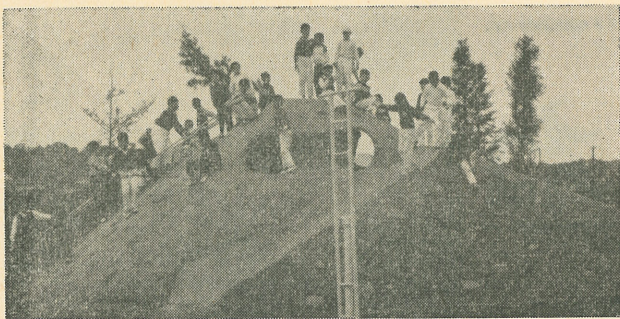


県下でも珍しい築山

文間小学校に完成

文間小学校の校庭に、このほど県下でも珍しいといわれる大きな築山が完成し、2百38名の児童や父兄のみなさんに喜ばれております。写真は、その築山(十月しゅん工)ですが、くわしいことは、つぎのとおりです。お知らせします。

1、底面積 66㎡
高さ 3・8m
山の形 山紫水明、変化に富む山形



2、機能

- 山のぼり：手かけによる
- 手すりによる 坂道による
- 突石による 階段による
- ロッククライミング：
- ……くさりによる
- すべりおり：
- ……すべり台による
- くぐりぬけ：
- ……トンネルによる

3、緑化

- 常緑樹 きょう木 3本
- かん木十数本 芝ふをそえる

4、ねらい

- (イ) 未分化時代(低、中学

第三日曜日は

“家庭の日”

家庭は、あすもまた元気に働こうという気力をうみ出すいこいの場所であるとともに、つぎの時代をになう青少年を健やかに育てるために、大変重要なたらしきをする大切な場所です。

わたくしたちの郷土いばらきが、より明るく、より住みよい社会となるためには、わ

年)の自然な遊びをとおし
ての体力づくり

(ロ) 小学生時代にどうして
もつくらねばならない調整
力の養成

5、使用法

- (イ) 児童自らの遊びで使用
- (ロ) 体育時の指導の中で使
用
- (ハ) 体育時の補強運動の中
で使用

6、費用

- 会員1名毎月50円ずつ1
ケ年
 - (イ) PTA1戸当たり6百
円の寄付
 - (ロ) PTA延人員1百75人
の労力奉仕
- 注：大部分の経費は(イ)と(ロ)
による

たくしたちの家庭がより明る
く、より楽しい家庭とならな
ければなりません。

このような考えかたから、

県や市町村、関係機関団体な
どがいっしょになって、こと
しの七月から、毎月第三日曜
日を“家庭の日”とし、この
“家庭の日”を中心に明るい
家庭づくりのための県民運動
―“明るい茶の間運動”―を
実施することになりました。
家庭での家族そろっての話し
あいを軸として、家庭ど ※

利根町の地図

利根町の地図ができあがり
ました。航空写真を使って作
製したもので、きわめて正確
な地図です。希望者は産業経
済課までお問い合わせくださ
い。

なお、地図は一万分の一の
大きさで一部一〇〇円です。

※ うしの明るい人間関係を
つくり、また、合理的な消費
生活を営むため、いろいろ暮
らしのくふうをしたり、家庭
をとりまく社会生活のなかで
は、青少年の声を聞く会”な
どを開催してみんなでこれか
らの楽しい暮らしの設計を考
え、実行しようというねらい
を持った運動です。

この運動をすすめるための
11月のテーマは
【働く人に感謝しよう】
です。

“家庭の日”にはおとうさん
もおかあさんも、こどもたち
といっしょに遊びましょう。

今月の納税

- 事業税 (第2期)
- 予定所得税
- 水道使用料
- 有線放送使用料

今月のこよみ【11月】

すっかり日あしが短
くなりました。東京で
は日の出が6時2分、
日の入りが4時47分
です。年末をひかえて、
この月はなんとなく気
ぜわしい月です。

- 1日 狩猟解禁日 狩
猟による事故がすくな
くありません。十分注意を払
いましょう。
- 3日 文化の日 明治神宮祭
民間では一のトリの行事が
行なわれます。
- 8日 立冬 周囲の自然はま
だ秋の色が深い、朝夕は手
足がつめたい。
- 10日 年賀はがき発売
最近では、合
同で七五三のお祝いをするよ
うになった。簡素化が叫ばれ
ています。
- 22日 小雪 そろそろ冬じた
くにかかるころです。
- 23日 勤労感謝の日 勤労を
尊び、生産を祝い、国民たが
いに感謝し合う日である。ま
たこの日は、金環日食が観測
されます。
- 24日 地蔵市 布川に苗木市
がたちます。
- 26日 この日から火災予防運
動が始まります。
- 27日 三のトリで冬が急ピッ
チでやってきます。

広報とね第19号臨時増刊

昭和40年11月10日

おしらせ

合併十周年記念式典

取りやめについて

町民のみなさまはすでに御承知のとおり、旧布川町、文村、文間村、東文間村の一町三ヶ村が合併し、利根町として発足以来、早くも本年で十周年になります。

その十周年記念式典を行なう予定でしたが、去る十月二十八日、町長、議会議長、副議長及び常任委員長と

の話し合いの結果、本年は文・文間・東文間の三小学校の給食室の建築事業及び消防自動車ポンプの購入等その他で出費が多く、十周年記念式典の行事を行なうことが困難のため、やむを得ず中止することになりましたのでお知らせいたします。

栄橋かけ替え問題を促進

陳情

昭和四年、布川・布佐の組合によって、架せられた栄橋もしゅん工後三十五年を経て老朽化し、年々荷重が大きい車両の交通量が増大して数年前から損傷が大きくなっております。

このようなわけで現在は、普通車以下の車両のみが、通行を許されているというきわめて不健全な状態です。

利根町の南玄関として、大きな役割を果たしているこの

橋のかけ替えは、目下の急務となっております。町では積極的に県や国にはたらきかけております。以下はその概略です。

4月27日
稲・北二郡の市町村長及び

議会議長の署名をもらう。

5月1日

川島自民党副総裁が布佐の舗装連盟主催の舗装しゅん工式に参列のため、布佐に来た機会を利用して陳情(広報と

ね第14号参照)
町長及び町議会議員全員陳情に参加。

5月21日

茨城県庁へ栄橋の現状をつぶさに説明し、すみやかにかけ替えの件を上野茨城県土木部長に陳情し、了承を得た。

その後、我孫子町長と数次にわたり栄橋かけ替えについて、協議し、千葉・茨城両県庁に陳情した。

6月16日

建設大臣秘書官、路政課長及び地方道課長に、善処方を陳情し、「善処する」旨の解答を得た。

6月18日

建設省の意向を、茨城県知事、副知事、土木部長に説明し、栄橋かけ替えの要請をした。

6月24日

我孫子町長と千葉県知事、土木部長に陳情「努力する」旨の解答を得た。

茨城県管理のため、茨城へかけ替えの要請をするとの解答をうけた。

なお、この間、栄橋問題について、両県土木部長、建設課長、ほ修課長の会合が佐原市の建設省佐原事務所で開催された。

8月16日

茨城県上野土木部長に、布佐商工会幹部と合同陳情し、昭和四十一年度予算で二等橋(制限16トン)に補修し、その後新橋調査にかかる旨の解答があった。

8月25日

橋本、赤城両代議士に協力を懇請した。

8月31日

千葉県角坂土木部長に、布佐商工会幹部と合同で要請した。

9月11日

赤羽県議と茨城県庁へ陳情した。

9月25日

茨城県知事に栄橋かけ替えについて要請(知事室にて) 10月19日

布佐の野口翁と同道し、川島自民党副総裁と院内自民党総裁室でかけ替えについて「まちがいない」旨の解答を得た。

違反建築をなくしましょう

九・九㎡(三坪)以上のすべての建物(新築・増築・改築の場合)は建築確認申請書(正・副各一部)ただし旧布川町のみ)他地区は建築工事届をだしましょう。くわしいことは役場の産業経済課へお

問い合わせください。用紙は用意してあります。

羽中児童会表彰される

【東文間小】

羽中児童会は、交通道徳が模範的であると、このほど取手地区交通安全協会会長 宇田川源次郎氏から表彰されました。

近藤教頭談

羽中児童会はバスを待っている時や降り降りの時、上級生が下級生や女生徒のめんどうをよくみるなど、運転手さんや車掌さんが感心するほど模範的であり、非常によろこばしいことだと思っております。このほど表彰されましたが、他の児童会でも登校の際一列にならんでくるなど、交通道徳を守るようになり、重ね重ねよろこんであります。

火の用心

火災の大半は火の不始末から起こるようです。したがって、火の用心さえ完全なら防ぎ得る災害です。

とくに歳末におこる火災は悲惨です。人々がたのしいお正月を迎えるというのに、冬空に泣かねばなりません。なにがなんでも火の用心をお忘れなく……。

お知らせ

移動図書館

12月8日、東文間郵便局前に移動図書館がやって来ます。圖書の借し出しは、午後1時50分から2時30分までです。どなたもご利用ください。

選挙人名簿を縦覧

昭和40年9月15日現在によって、調製した基本選挙人名簿を昭和40年11月5日から15日間、毎日午前8時30分から午後5時まで利根町役場において縦覧いたします。希望者は期間内においてください。

利根町選挙管理委員会

運動会

スポーツの秋です。町内の各小中学校および保育所では先月はなばなく秋季大運動会を開催しました。

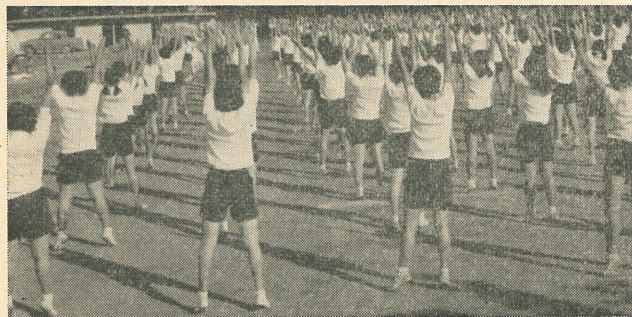
写真は10月3日布川中学で撮影したもので上は女子生徒のプラスチックバンド、下は全校生徒の体操です。当日は幸いにも好天に恵まれ、先生もろとも最後までがんばりました。

読者の投稿

老人に記念品

去る9月15日の老人の日のことです。布川中宿に在住する高潔なる一紳士から、万千百会会員58名に記念品が贈られました。

この篤志家は、人格識見共に備えた好紳士であることはいうまでもなく、同僚諸氏も「万人に好かれ、紳士の模範である」といっております。このような慈善的行為に対し、当日は目がしらを熱くし



(布川 M・O老)

優良赤ちゃん

たかたが少なくありませんでした。各部落ごとにこのような人があつたら、部落の老人のかたは、いかほどの喜びになるかと考えさせられます。町にも名士あり、有士あり大店舗あり、部落には部落の経済をなすかたがたもあるのだから、このような点に大いに心を注いでいただき、年に一度の日なのであるから、敬老の意味からでも、大いに考えていただきたいと思えます。

(布川 M・O老)

健全であるい郷土(茨城県)を築き、母子衛生の健全を図るために、茨城県、市町村、いはらき新聞社主催で行なわれている「いはらき赤ちゃんコンクール」に利根町からも代表を送るため、乳児の健康診断を行いました。

竜ヶ崎保健所の慎重なる審査の結果、つぎの二名が優秀な赤ちゃんとして利根町の代表に選ばれました。
大竹 康裕 七ヶ月
(保護者 Ⅱ 功夫)
藤後由美子 八ヶ月
(保護者 Ⅱ 邦夫)

有線放送新規加入者を募集

利根町有線放送では、八月の加入者募集に続いて、新規加入者を募集することになりました。

現在、加入者数の増加にともない、ますますその効果があがり便利になりました。ふるってご加入くださるようお願いいたします。スピーカーをお持ちのかたは約六千円位です。希望者は産業経済課までご連絡ください。

11月の歴史

2日 北原白秋死す(58歳・昭和17年)
詩人であり歌人であった白秋は、福岡県柳川の生まれです。
名は隆吉。明治42年に、高村光太郎や木下杢太郎らとともに「パンの会」を創立し、同年、第一詩集「邪宗門」を刊行した。そののち短歌運動を始め、東洋的な象徴主義を主張しました。数々の詩集や歌集を出しましたが、
「雨が降ります雨が降る遊びに行きたし傘はなし紅緒のかっこも緒がきた……」
のうたは、不朽の名作としてすべての日本人の心に残っていることでしょう。
徳富蘇峰死す(94歳・昭和32年) 熊本県生まれの評論家。名は猪一郎といひ、徳富憲花は弟です。
4日 原敬暗殺される(68才・大正10年) 盛岡の生まれ、政友会全盛時代をきづいたが、19歳の青年、中岡良一に東京駅で刺し殺された。
5日 狩野芳崖死す(61才・明治21年) 画家。
18日 徳田秋声死す(73歳・昭和18年)

こんばんの献立 (4)

魚ソーセージの

沖繩風天ぷら

材料Ⅱ (二人分)

魚ソーセージ一本、にら $\frac{1}{2}$

束、卵二個、小麦粉一カップ

塩、揚げ油。

作り方Ⅱ

① 魚ソーセージは外皮をむ

ぎ、半分の長さに切り、薄く

小麦粉をまぶす。

② には水気を切っておき

ます。

③ ボールに卵を割ってほぐ

し、小麦粉を加え、塩小さじ

$\frac{1}{2}$ 杯を入れ、ぼったりした厚

い衣をつくる (ホットケーキ

商工会だより

○去る九月二十五日、商工経営指導研究所々長安田正夫先生をお招きして、地方小売店の経営改善についての講演会を開きました。

商品構成と商品管理、従業員教育と接客サービス、店舗構成等、利根町商工会発展のあり方について活発な質問が行なわれました。有意義なお話でしたので、多数の参加が望ましかった。

○商工会法施行五周年記念茨城県商工会大会が去る十月十

程度のかたさ)

④ 揚げ油を熱し、小麦粉をまぶしたソーセージにたっぷり衣をつけ、中温の油でゆくり、衣に火がとおるまで揚げ

る。

⑤ 残りの衣に、にらを長いまま、十本位たばにするように、たっぷり衣をつけ、同様に揚げる。

ソーセージは、小口から7mm位の長さに切る。にはら2cm長さに切り、切り口を上

に盛る。そのままたべてもよいが、好みによって、からしし

ょうゆを添える。

利根町食生活改善推進員協議会

八日水戸市茨城会館において

県下商工会員代表七百六十五

名が一堂に会し、盛大に行な

われました利根町商工会から

は十名参加。

第一号議案

小規模事業指導対策費の大

幅増額について

第二号議案

小規模事業者に対する低利

なる融資制度の確立について

第三号議案

中小企業者に対する減税の

実現について

第四号議案

中小企業者の設置促進につ

いて

第五号議案

市町村の商工会に対する指導助成の強化について

以上万雷の拍手をもって可決した。

なお、陳情書を利根町町長

議会議長に提出する。

○十月二十日商業簿記講習会

が行なわれ、伝票の作成、金

銭及び元帳の記載、合計表、

残高試算表等実際に個々に記

入、記載して講習を受けまし

た。

希望があれば、もう一度この

個所の指導を受けたいと思

いますから、事務局までお申

し込み下さい。

利根町商工会発展のため

に、種々事業を計画しており

ます。みなさまのご希望、ご

意見を待ちしております。

利根町商工会事務局

玉村

にせ税務署員にご注意

最近、各地において、にせ税務署員による金銭の詐欺事件がひん発しております。

署員が納税者宅を訪問した

場合には、必ず身分証明書を

提示するよう、日ごろ署員に

指導しておりますので、署員

の来訪を受けた場合には、遠

慮なく身分証明書の提示を求めてください。

また、疑わしい者の来訪を受けた場合には、至急電話等

により、税務署の総務課長に

ご連絡願ひ、未然防止にご協力願ひます。

電話は(竜)三〇三番です。

(竜ヶ崎税務署)

空気銃と野鳥

11月1日から全国的に狩猟が解禁になります。

空気銃もこの日から使用できます。

空気銃は火薬を使用しないので、子どものおもち

ャの一つぐらに軽く考える人も多いようですが、これは

まちがいです。

とくに空気銃による密猟があいかわらず農村部や都会の

郊外で行なわれています。空気銃が手軽に買えて、しかも

ねらわれるのは、わたくしたちの生活に潤いを与えてくれ

る野鳥です。生きていければ、

多くの人々を楽しませてくれる小鳥が、空気銃の犠牲にな

ることは悲しいことです。

こまかい法律の規則は別として、空気銃を扱う場合、つ

ぎのことは必ず守っていただき

たいものです。

① 未成年者は扱えません。

② 人家の立てこんだところでは、銃をうってはいけません。

③ 許可証のない銃は使えません。

④ 狩猟免許を持たずに鳥をうってはいけません。

⑤ 禁鳥は狩猟できません。

道路をきれいに

道路はわたくしたちのものです。野ら道などがあるくと畑の草などが捨ててあり、道幅が非常にせまくなっているのをよく見受けませんが、これはよくないことです。おたがい気がつけてすぐにやめましょう。また練炭の灰やあさりの中から道路に捨てるのをやめて「常にきれいにすること」に努めようではありませんか。

町勢 (昭和40.11.1現在)

世帯数 1,748
人口 8,859 { 男 4,322
女 4,537

発行所 利根町役場
町長 加納久頭
編集 産業経済課
電話 利根9・69番
印刷 倉沢印刷株式会社